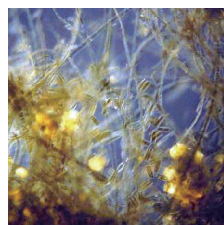


能登の珪藻土ってどんなもの？

40
億年前!?

珪藻とは…

珪藻は単細胞の小さな藻類です。地球上に最も早く誕生した原生生物の一つで、珊瑚とともに「光合成」で酸素を供給し、オゾン層を作り、人間をはじめさまざまな生命の誕生を促したといわれています。珪藻は世界中の淡水、気水、海水を問わず群棲しており、その種類は15万以上ともいわれています。



能登の
3/4

能登は、ほとんどが珪藻土!

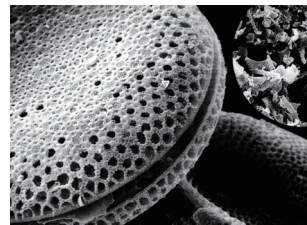
能登半島の土の約3/4は珪藻土です。そのため、埋蔵量も豊富。今から1500万年前の地層の一部で、他県産に比べて珪藻殻が少なく珪藻泥岩に属しています。

能登珪藻土は、多孔性と粘土が適度に含まれているので成型性にすぐれており、そのため、古くから「七輪・濾過助剤・吸着剤」などに使用されています。

0.1
ミクロン

「無数の穴」が熱・水分・空気をコントロール!

主成分はガラスと同じ珪酸質でできており、その表面は0.1~0.2ミクロンの無数の小さな孔をもつ超多孔質構造になっています。



1/3
の重さ

普通の耐火レンガの約1/3の重さです!

珪藻土はレンガなどに焼成されると、断熱性、保湿性、吸着性などさらに優れた特長を発揮します。焼成によって、珪藻の中の葉緑体が燃えてなくなり、無数の空気孔ができるためです。珪酸質のため、耐火性にも優れています。

空気孔のおかげで、「軽くて多機能!」。この「軽さ」も大きな特長です。



※サイズは共通65×114×230mm

珪藻土レンガの「軽さ」を体験してください!